

身体障害者の社会的地位向上を目指して 宇城市身体障害者福祉協議会が総会

身体障害者などをつくる宇城市身体障害者福祉協議会（際田喜一郎会長）の総会が4月26日、不知火公民館で開催され、代議員ら約70人が出席しました。

同協議会は宇城市誕生に伴い、旧5町の身体

障害者福祉協議会が合併してできたもの。会員相互の親睦と融和を図り、自立更生および社会的地位を向上させることなどが目的です。

総会では際田会長が「本協議会の発足に尽力したすべての方々に深く感謝します」とあいさつ。会則や平成17年度事業計画、予算などが原案どおり承認されました。

同協議会では市全体でのスポーツ大会、歌謡大会などのほか、旧町単位で支部としての活動を行う予定。また、各支部には相談員を置き、身体に障害をお持ちの方のさまざまな相談を受け付けています。



総会では17年度事業計画や予算などを承認。円内はあいさつをする際田喜一郎会長

会員募集!! 入会資格は身体障害者手帳をお持ちの方です。

問合せ先 市役所各支所健康福祉課

- 三角支所 ☎53-1111 ○小川支所 ☎43-1111
- 不知火支所 ☎33-1111 ○豊野支所 ☎45-2111
- 松橋市民センター ☎32-1111

未来を前向きに切り拓くために 生涯学習推進大会を開催

5月14日、宇城市生涯学習推進大会が小川総合文化センター「レポート」で開催され、約500人が参加しました。

オープニングでは不知火町竜燈子ども隊が元気いっばいの太鼓演奏を披露。阿曾田清市長が「それぞれの持たれる特性、それぞれの生きがいというものをこの生涯学習の中で醸し出していきたい」とあいさつしました。

引き続き、宇都宮大学生涯学習教育研究センターの佐々木英和助教授が、「生涯学習から“生涯活躍”へ—魅力的な地域づくり・人はぐくみ—」と題して講演。参加者2人1組で対話させて交流を促す「交流—参加」型学習で話を進めました。

「『生きがい学習』だけが生涯学習ではない。生き延びるために学ぶということが忘れられている」「学習したことが蓄積され、その成果を発揮して活躍したいという心理的欲求が『生涯活躍』であり、その欲求は生涯学習により支えられている。この前向きに生きようとする欲求が大切」と生涯学習の意義を説きました。

また、生涯学習活動の優良事例に選ばれた不知火町長崎公民館と豊野町Jr.リーダークラブが、その活動内容を発表。フラダンス、手話ダンス、エアロビクスの自主グループが活動の成果を披露しました。



オープニングを飾った不知火町竜燈子ども隊の太鼓演奏



宇都宮大学生涯学習教育研究センターの佐々木英和助教授による基調講演

宇城市ソフトボール協会が発足 第1回春季大会に39チームが参加

4月18日から5月9日にかけて、宇城市ソフトボール協会（古川紀満会長）が発足初めての第1回春季大会を岡岳グラウンドで開催しました。

1部14チーム、2部14チーム、3部11チームの計39チームが参加し、熱戦を展開。競技の結果、1部は三角クラブ、2部は糸石クラブ、3部はリトルリバーがそれぞれ優勝を飾りました。

そのほかの上位成績は次のとおりです。

（1部）2位：永井製作所、3位：フォーティシックス、不二高庄コンクリート

（2部）2位：松田病院、3位：肥後クラブ、三遊会

（3部）2位：パインブリッジ、3位：内田クラブ、開クラブ



見事なホームランでパインブリッジから貴重な追加点を奪うリトルリバー（3部決勝）

春だ! 花ラン漫 戸馳花の学校でフラワーフェスタ開催

好天に恵まれたゴールデンウィーク期間中、三角町の戸馳花の学校でフラワーフェスタが開催され、10日間（4月29日～5月8日）で延べ2,371人の家族連れなどが来場しました。

施設内では、流木や船に洋ランを飾り付けた豪華なオブジェが人々の目をくぎ付けにしました。特に人気だったのが、洋ランの展示即売。コショウランなど約50種類の洋ランが通常より安価となっており、母の日を前に購入する人々が多かったです。

また来場者たちは、五蘭塾ハウス棟のランを観賞したり、体験・押し花コーナーでキーホルダーやコースターを親子で制作したりして、思い思いに楽しんでいました。



色とりどりの花々が来場者たちをお出迎え

茶わんや花びんなど約300点を展示 陶芸教室の生徒の作品展を開催

4月29日から5月8日まで、三角町伝統工芸館の陶芸教室作品展が三角西港の浦島屋で開催されました。

井澤勝己さん（三角町西港）を講師とした同教室生徒の作品展。生徒14人の1年間の集大成である茶わんや花びん、皿など約300点が並びました。

会場で受付をしていた生徒の紫垣順子さん（三角町西港）は、「西港築港100年を機に始まった教室で、最初から通っている生徒の1人です。陶芸は土と自分とが1対1になれます。奥が深くてもうやみつきです」と陶芸の楽しさを語ってくれました。



教室生の集大成がすらりと並んだ作品展

収穫して食べるのが楽しみ 「まこもたけ」 植え付け体験

5月19日、豊野小学校（古賀秀一校長）の5年生50人が同町の特産品である「まこもたけ」の植え付け体験をしました。

児童らは同町糸石の水田35アールに約1,500本の苗を一本一本丁寧に植えました。初めて入った児童が多かったようで、ぬかるむ足場に悪戦苦闘していました。

また、10月には収穫体験を行い、それを給食で食べる予定です。参加した児童らは「収穫して食べるのが楽しみです」と早くも秋の収穫を楽しみにしていました。

「まこも」は中国・台湾が原産地でイネ科の多年草。低カロリーで食物繊維が多く、浄血作用があり体内の不用物の除去作用に効果があります。



田んぼのぬかるみに足を取られ悪戦苦闘する児童ら